彩の歳時記

平成三十年　十月

『**枕草子**』の冒頭にもあるように「**秋の夕暮**」は情趣深いものとされています。「**秋の日は釣瓶落とし**」と言われるのは、急に日が落ちて暗くなることに拠っています。

大きな災害に多く見舞われた、**七・八・九月**の日本列島、どうか「**秋の訪れ**」と共に穏やか日々が戻りますようにと願わずにはいられない**十月**です。とはいうもの冬に向かうこの月は寂しさも増しますが、過ごしやすい時期、日中の優しい日射しを満喫して、心地良い疲れの中、眠りにつきたいものです。

十月の暦

神無月（かんなづき）　平安時代の文献に「**日本中の神々が出雲大社に集まるという伝説**」が見え、神様が**出雲大社**に集まりその他の地域では不在という説もあるが格助詞・**無(な)**は**(の)**と読み「**神の月**」の意

一日　**衣替え(更衣)**　平安時代から続く中国伝来の宮廷行事で「天皇の着替えの役目を持つ女官も**更衣**と言った。民間では更衣とは言わず「衣替え」となり、6月1日と10月1日になり、明治以降は、官庁企業等もそれに従うが現在は曖昧である。

「**和服**」は現在もしきたりを尊重し、伝統を継承する。

都民の日　**東京市**が発足した日。この日、東京都の管理する**博物館・美術館・庭園**等は、同日に限り入場料が無料、一般公開や見学会、特別行事などを行うことがあるのでインターネットなどでチェックして、秋の東京を散策し「芸術の秋・食欲の秋」を体感してみては。

志ん朝忌　噺家（はなしか）・**古今亭志ん朝**（ここんていしちょう）**【1938～2001】**の忌日。昭和の名人・五代目・**志ん生**の次男。**江戸前正統派落語**の最後の継承者。**口跡**(言葉遣い・話しぶり・声色など)の良さと**華**、**気品**で一世を風靡、同業者からも高い評価を受けた。現在もＤＶＤなどの刊行が続き、人気を誇る。

八日　**寒露**（かんろ）**【二十四節気】**朝露が冷たい外気に晒されて凍る前の**露(寒露)**が降りる時期。

八日　**体育の日**　スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう日。**2000年から、第二月曜日に。**

十日　**東京オリンピック開会の日**　**1964年の東京オリンピック開会式の日。**

56年後、2020年の東京オリンピックは「7月24日～8月9日」。

二十日　**美智子皇后誕生日。**お印は**白樺**　**1934年ご誕生の八十四歳に。**

平成二十九年誕生日に際しての近影→

二十三日　**霜降**（そうこう）**【二十四節気】**紅葉が始まり、季節が夏から完全に秋へと。

三十一日　**ハローウィン**　11月1日の**万聖節**(カソリックの**全聖人**(All Hallows)の祝日＝Halloween)と秋の収穫祭の**前夜祭**。カブなどをくり抜く「悪魔除ランタン」はアメリカに伝来時、カブに馴染み薄のアメリカで多収穫のカボチャを**提灯「ジャック・オー・ランタン」**として使用したことに因む。

十月の歌　**夜空のムコウ　1998年　詞　スガシカオ【1966～】曲　川村結花【1967～】**

一昨年、解散した国民的アイドルグループ『SMAP』のヒット曲。SMAP【1988～2016】のメンバーは1970年代前半生まれ、団塊ジュニアと呼ばれる世代で、ロストジェネレーション（失われた世代）＝バブル崩壊後の就職氷河期を体験した非正規雇用やフリーター世代。高度経済成長期のさまざまな人生モデル[終身雇用、マイホーム、子育てができる専業主婦など]がことごとく不可能であるにもかかわらず、価値観は、高度経済成長期を前提にした「まだ結婚しないのか？　そんな仕事についているのか」を突きつけられた世代。信じてきた物が信じられなくなるという想いが歌詞の込められ、時代の代弁者的な意味も含め、多くの若者の心を捉え、支持された。

あれからぼくたちは
何かを信じてこれたかな
夜空のむこうには
明日がもう待っている
誰かの声に気づき
ぼくらはみをひそめた
公園のベンチ越しに
夜の風が吹いた
君が何か伝えようと
にぎり返したその手は
ぼくの心のやらかい場所を
今でもまだしめつける
あれから僕たちは　何かを
信じて来れたかなぁ
マドをそっと開けてみる
冬の風の匂いがした　後略